

# 離床センサー 現場レポート！

VOL.25  
Jun.2011

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

精神科病院において様々なリスクがある中で、離床センサーを活用し身体拘束の軽減や転倒・転落事故対策に取り組まれている千葉県 H 様の例をご紹介します！

千葉県・精神科 H 病院様

ご使用機種： ベッドコール N・ハイパー (NBH-20R)

## 課題

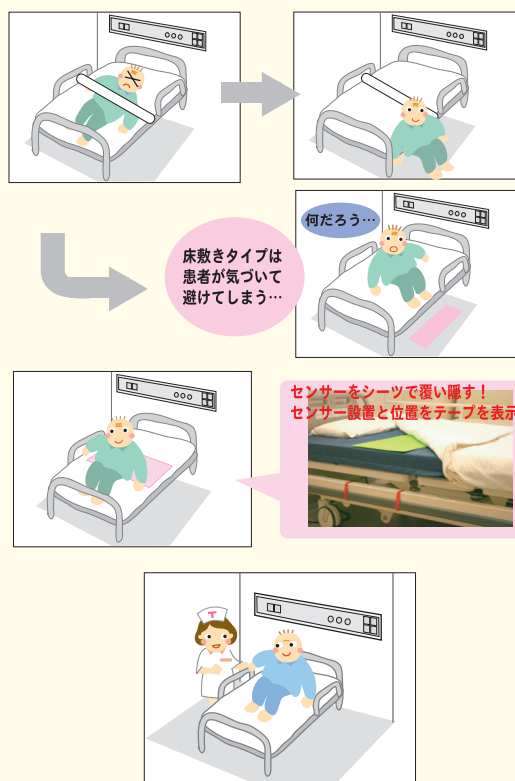
(使用薬剤により) 歩行介助レベルの対象者が、1人で離床して転倒するリスクがある。  
ナースコール指導も効果がなく、体幹ベルトで対応しているが、トイレに行きたくないとベルトの隙間からすり抜けて離床してしまう。また、床敷きタイプのセンサーを使ってみたが、気づいて避けたり、飛び越えたりしてしまう。

## 対策

対象者が離床するタイミングを知るため、「ベッドコール N・ハイパー」を採用。センサーにケーブルがなく、シーツで覆い隠せることで対象者に気付かれにくい点が採用のポイントとなった。また、センサーを設置していること、設置位置の目印としてベッドのフレームにテープを貼った。

## 効果

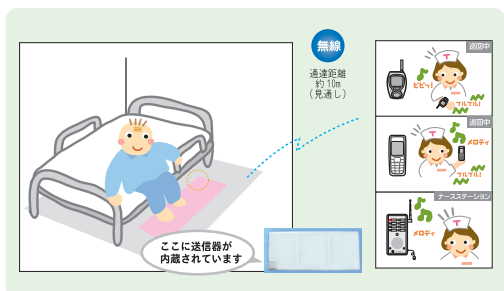
対象者がトイレに行きたいタイミングで介助ができ、対象者の生理的欲求を満たせると共に、単独歩行による転倒事故を防止できた。また、体幹ベルトを外す事ができたので、対象者の精神安定とスタッフの緊張緩和にもつながった。



## センサーに全くコードがない！「ハイパーマット」と「Nシリーズ」

### 病室内完全コードレス化！「ハイパーマット」

センサーに内蔵された送信器から直接受信器へ報知するため、病室内が完全コードレスになります！



### コードレスセンサーの専用受信器タイプ「Nシリーズ」！

ナースコール連動タイプの「コードレスセンサー」が専用受信器で使えるようになりました！センサーは選べる4タイプ！（ナースコールタイプとの併用も可能です。）

